

力を合わせて収穫する児童たち＝高山市久々野町
久々野、久々野小学校



春から丹精に栽培 久々野小児童、黒豆を収穫

高山市久々野町久々野の久々野小学校で11日、3年生が春から校内の畑で育ててきた黒豆約70本を収穫した。

大豆の栽培や加工を通じて、食と農業に理解を深めてもらうと、JA岐阜中央会などが取り組む「まめなかな運動」の一環。JAひだ女性部久々野支部が毎年、苗植えから収穫までを指導しており、今年は黒豆を植えた。児童23人は6月に苗を植え、水やりや草むしりをして育ててきた。

この日は、JAひだ食農リーダーの矢嵐生子さんが「楽しんで収穫してください」と声をかけると、児童らは、根を張った黒豆を力を合わせて引き抜いた。また黒豆の枝で編む「手裏剣」の作り方を教わり、完成させると、投げて遊んだ。

収穫した黒豆は、来年2月に給食で黒豆ご飯として提供される。
(岡村将成)